

平成 23 年 5 月 13 日
東 北 電 力 (株)

お 知 ら せ

今夏における当社供給力の見通しについて

当社におきましては、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により、太平洋側にある火力発電所が甚大な設備被害を受け、当面、供給力として見込むことができないことなどから、可能な限りの供給力を確保するため、全力を挙げて取り組んでおります。

今夏の供給力について、現時点での状況を踏まえ、見通しを変更いたしましたので、お知らせします。

<今夏の供給力の見通しについて>

	8 月供給力
変更後の見通し (5/13 時点)	1, 230 万 kW 程度
これまでの見通し (4/15 時点)	1, 210 万 kW 程度

当社の需給が逼迫する場合には、被災地の復興に必要な電力を確保していくため、東京電力株式会社より、その時点で最大限の電力融通（最大で 140 万 kW）を行っていただける見通しとなっております。東京電力からの電力融通を考慮した場合の 8 月供給力は最大 1, 370 万 kW 程度になります。

【見通しの変更理由】

- 当社に卸電力供給を行う新日本製鐵株式会社釜石火力発電所（出力：13.6 万 kW、所在地：岩手県釜石市）について、今夏までの運転再開の目途が得られたことから、同発電所からの当社受電分 13.6 万 kW を供給力に計上いたしました。
- 東新潟火力発電所構内に移動用ガスタービン発電機（出力：2.5 万 kW 級）を 2 台導入し、8 月より営業運転を開始することとしたことから、同発電機出力を供給力に計上いたしました。（別紙参照）
- 三菱製紙株式会社八戸工場の自家発電設備（所在地：青森県八戸市）からの余剰電力購入分 5 万 kW を供給力に計上いたしました。

以上

[参考]今夏の電力需要の想定

- 8 月最大電力 1, 300 万～1, 380 万 kW 程度
（異常高気温時には、さらに 100 万 kW 程度高くなるものと想定しています）